

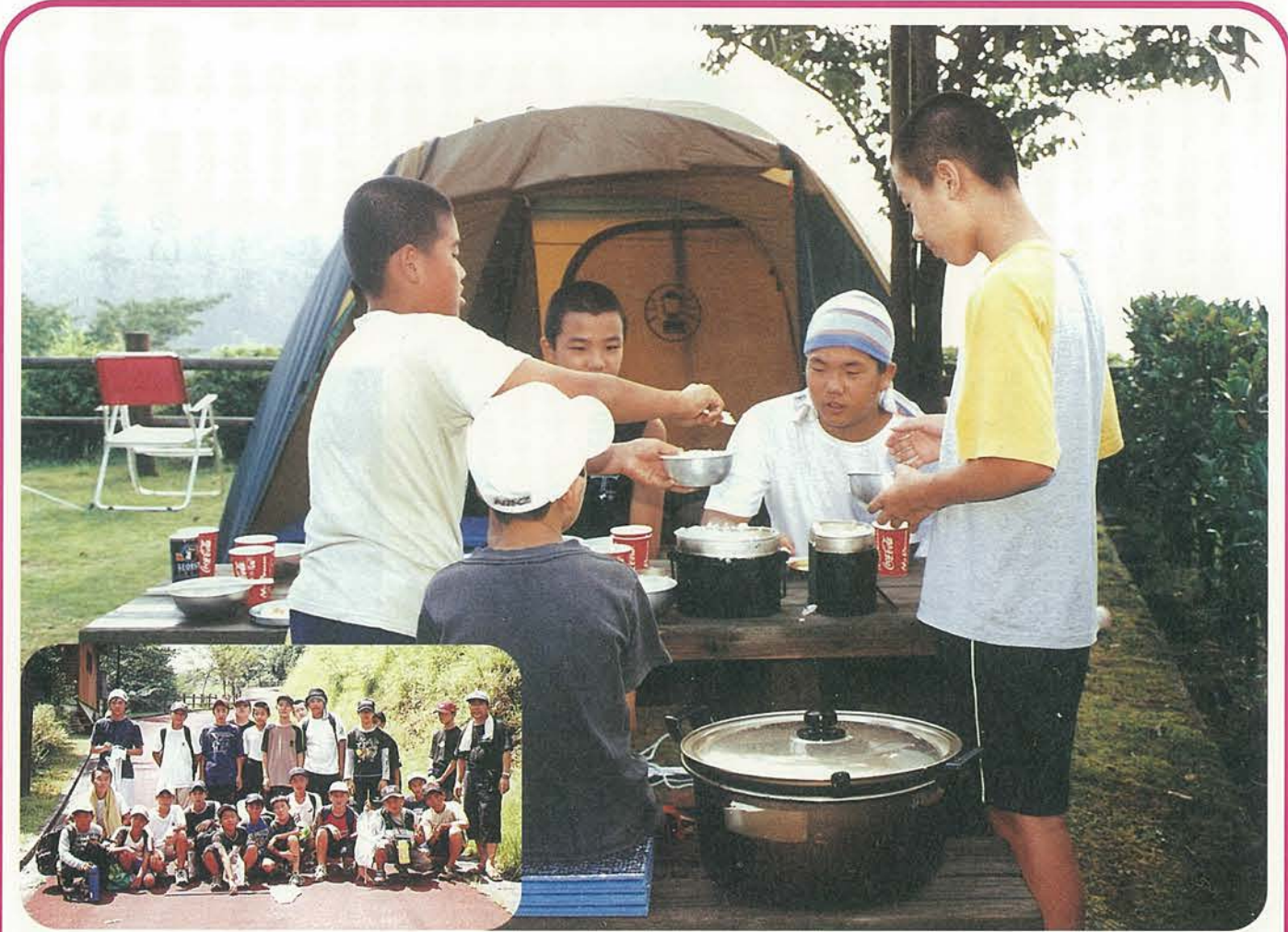


津奈木公民館
電話 (78) 5400
○右の題字は「徳富蘇峰さん」
の額を写したものです。

津奈木



キツネノカミソリ (7月開花)



“でき具合はどうですか”

雨の多かった今年の夏休み、そんな中去年の七月二十九日から三十日の二日間、鹿児島県満辺町の山懐にある「鹿児島県民の森キャンプ場」で青少年の健全育成を目的に「津奈木町青少年サマーキャンプ」を開催し、小学生十三名、中学生十名が参加し、サバイバルの入門コースを体験しました。

電気・ガス・水道と現代文明の恩恵に浸っている子ども達は最近のキャンプは親が全てをお膳立てする傾向にあります。

今回のキャンプは、ベースキャンプ地まで徒歩での荷揚げ、いわゆるポーター体験、テントは指導を受けた後、自分達のテントは力を合わせて設営、古代の舞い切りを使つての火熾し、危ない包丁さばきで食事の準備、飯盒めしたき、缶切りの使い方を知らなかった子ども達も体験活動を十分に楽しみました。

一言

最近、海外でのスポーツ選手の活躍をよく耳にします。野球、サッカー、マラソン等様々なスポーツで活躍されていますが、活躍された記事を新聞記事等で拝見すると喜ばしい限りです。本町でも町民体育祭を中心にいろいろなスポーツイベントが開催されていますが、八月には、恒例の野球ならびに競舟大会が開催されます。楽しみにしている人、少し苦手な人、たくさんの方が参加されます。もし、残念ながら出場できない人は、まずは応援に行かれてみてはいかがでしょうか。

特に、顔見知りの方が応援してくれると思えば選手の励みになると思います。そして、次回大会以降で出場を検討してみたい。試合に向け練習を重ねていた人、ぶっつけ本番になった人それぞれだと思いますが、まずは楽しんで参加できればいいと思います。同じ時間を共有することがスポーツ以外の地区活動や人間関係に役立っていくのだらうと思います。

山下 浩一 (丸岡地区)

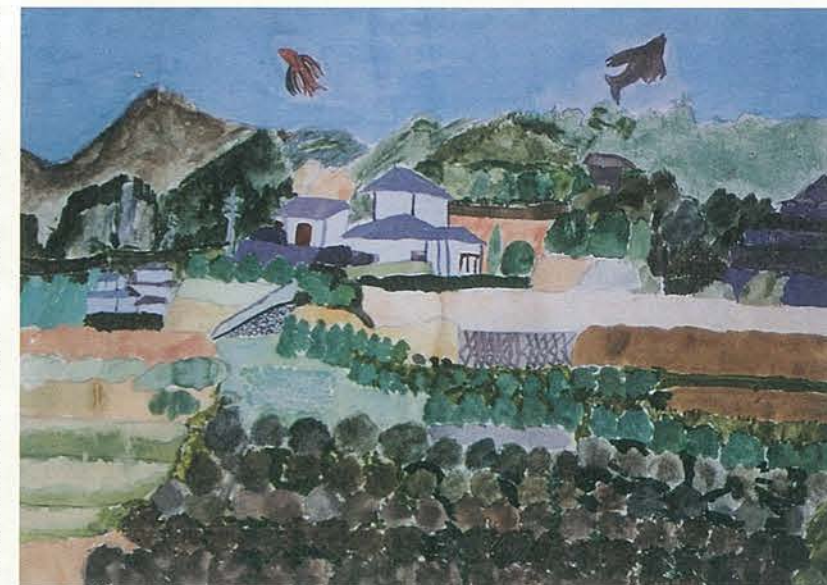
子ども美術館 (21)

文化協会奨励賞 (平成十四年度)

平国のきれいな山

平国小六年 野崎 愛

山や田畑など、平国地域の風景をかきました。遠近感を出すために山の色を少しずつ変えたのが難しかったです。このような自然豊かな平国の地域をいつまでも残していけたらと思います。鳥のかき方をちゃんと工夫すればよかったです。



※「子ども美術館」紹介シリーズは文化協会奨励賞で十五年度作品が決まるまでは十四年度作品です。

郷土を知ろう

「武道場入門名簿」

六車家は三代(文太・和八郎・和七郎)にわたり、津奈木手永中御家人の武術指導(相門中引回し)を行なってきた。傍に道場を建て、丹見流・全身流を教えた。砲術は家の中でやる訳にはいかないので、松岡の「あけぼの苑」あたりで稽古する。

家を継ぐ時、武術の免許

甦った 中学校中庭



三十年前に造られた中庭も、現在では荒れ放題。去る七月、雨模様の中で生徒、保護者、先生等のボランティアにより、見事に

皆伝が最高で、目録がいくつ以上なら文句なし、以下なら格下げになるさまりがあつたから、勢い訓練に身を入れねばならなかった。入門するに当って「決して他見・他言しない。若し破つたら神罰を蒙つても、白癩・黒癩の病気になる、死んだら地獄に落ちてもかまわぬ」と誓わされた。入門名簿は巻物になっていて、砲術は天明三年(一七八三)から明治三年(一八七〇)まで、丹見流は文中庭が復活しました。生徒達も、池を眺めたり散策したりして、きつと心が和むことでしょう。

参加下さいました皆さん本当に御苦労様でした。

水俣・芦北地区 人権教育研究大会

八月二十六日(火)、第六回水俣・芦北地区人権教育研究大会が、つなぎ文化センターを中心に開催されました。

目的を、「水俣・芦北地区において、すべての人々の人権が尊重される社会の実現を目指し、広く学校及び地域住民の人権問題に



化二年(一八〇五)から明治維新まで。約百年間二百武拾七名と貳百参拾五名の名前がズラリと並ぶ。双方とも重複するが、入門時、隠居・死亡・養子縁組みの年月が書き加わえられていて、戸籍簿みたいなもの。名前を三回も変えたり、養子に行つてすぐ離縁になつたなど、津奈木の縁故関係をあぶりだす好古の資料であるといえるだろう。

「六車家文書(三)」より 岡松莊一郎

お知らせ

9月行事予定

- 13日(土) ちよんかけこま教室
- 21日(日) 保育園運動会
- 25日(木) 郡市中学校陸上大会
- 28日(日) 町内小学校運動会
- 10日(水津校) あけぼの大学
- 17日(水津校) あけぼの大学
- 25日(水津校) あけぼの大学

10月行事予定

- 5日(日) 幼稚園運動会
- 12日(日) 町民体育祭(陸上)
- 27日(月) 郡市中学校駅伝
- 15日(水津校) あけぼの大学
- 17日(金津校) あけぼの大学
- 29日(水津校) あけぼの大学

編集後記

残暑お見舞い申し上げます。冷夏とはいえまだまだ暑い日が続きます。夏場の体調を早く整えて、実りの秋を迎えてください。

お詫び

七月号記事について 津奈木中学校PTA 副会長 長友 浩典(様)の記載がもれていました。訂正してお詫びします。

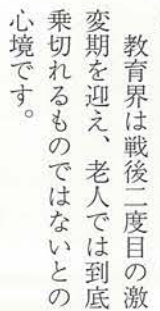
お世話になりました よろしく願います



前教育委員長
岡松 庄一郎

退任・就任あいさつ

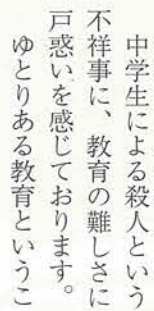
老極により依願退職という区切りのつけ方が江戸時代がありました。「もう無理バイ」と気付いたら申し出るのがきまりでした。またもう一期となると八十の声をきくことになりました。



教育委員
福崎 靖夫

教育委員は戦後二度目の激変期を迎え、老人では到底乗切れるものではないとの心境です。

この度七月一日付で、教育委員に任命されました。福崎靖夫です。保育園の経験で幼児の指導等はできるとありますが、児童・生徒のことは良くわからず不安もありながら引き受けました。先輩の委員の皆様のご指導を受け、また自分自身も勉強し、少しでも児童・生徒のために手助け出来るように頑張りたいと思っています。よろしくお願い致します。



教育委員長
佐々木 緑

中学生による殺人という不祥事に、教育の難しさに戸惑いを感じております。ゆとりある教育というこ

童話発表会



町代表の3名

七月二十四日(木)に各校の代表者により、童話発表会が開かれました。総勢二十五名の中から、低中学年の中から審査の結果、次の

公民館報編集委員研修

大分県萩町

去る六月に、編集委員七名は研修のために、萩町(大分県直入郡)を訪ねました。萩町は、赤崎とゆかりのある「いびき博士」で有名な池松武之亮先生の郷里でもあります。萩町公民館長と赤本主事の活動状況について説明を聞き津奈木町館報の現状を交換しました。萩町は、インターネットによる広報活動、町民には「おぎだより」として公民館報と「町民だより」的な方法で広報活動がなされています。小さい町(人口三千人)御多分にもれず



萩町中央公民館前にて

児童が津奈木町代表に選ばれました。

低学年 村上朔哉(津小一年)
中学年 伊藤早紀(平小四年)
高学年 坂口彩芽(津小五年)
郡市大会の健闘を期待します。残念ながら本年度は県大会には出場できませんでした。

また、図書館の本をたくさん読んでくれた児童十名の表彰がありました。上位三名をお知らせします。

一位 尾上望美 83冊
二位 坂口彩芽 61冊
三位 川崎あずさ 59冊



この本は、獣医師である西山ゆう子さんが書いた本です。私は獣医師について興味を持っていたので読むと思いました。

私は、この本を読んで、ペットと人間は、常につながり、助けあっているんだなあとということを感じました。

例えば、飼い主が目や耳が不自由な時、生活を助ける犬がいます。また、災害が起こった時に、生存者を見つけた犬、一人暮らしの人を心をつなぐ犬や猫もいます。

読書感想文

「小さな命を救いたい」を読んで

津奈木中3年 平野 りさ

守る責任があると思ってるのです。私がよく目にするのはいろいろな場所をさまよっている犬や猫たちです。これらは、おそらく飼い犬、飼い猫ではありません。人間の無責任な行動が引き起こしてしまっていることです。このようなことを防ぐ手段として、不妊去勢手術というのがあり、この本には書かれています。これはオスやメスの生殖能力を取り除くことです。動物たちの病気の予防ができペットの性格も穏やかになるそうです。私は、この世に一匹たりとも無駄な命はないと思っています。だからみなさんが協力して分り合えば保健所から死んでいく動物はいないかと思えます。



庭木作りが趣味のスーパーカーが 長浜チエさん(74)



長浜さん(右) 下川さん(左)

ここ、こんな人が……
(辻地区)
辻にお住まいの長浜チエさんをお訪ねしました。

数年前の台風では屋根瓦の修理や風倒木もチェーンソーを使って御自分で片付けてしまわれました。

けされ大変喜ばれました。草鞋作りも趣味の一つで虫メガネとピンセットを使った繊細な物などさまざまな作品が飾ってありました。野菜畑も広範囲に手入れされています。食料品は町に出掛けられた折にまとめ買いされ冷蔵庫に保存されています。ただタクシードに三千五百円程取られるので年金暮らしにはきつとおっしゃっていました。

お隣りの下川さんも一人暮らしでお互いに助け合っておられます。特に下川さんは病弱で「長浜さんがい



ミニわらじ

短歌

本郷武雄選

肥後狂句

神無月

つなき短歌会
雨止みて増しける杉の秀に
白き花かと小鶯が群るる
寺本ツルヲ

まだ見える大脳ほどか紫陽花が
色とりどりに漂として咲く
白浜美和子

大ひく庭をうめつとレニヤは
梅雨を忘れず今年も咲きつぐ
西川 ムキ

腰痛を耐えて来たる美容室に
髪ゆだねつすがさといふ
福田八重子

伝承の「千代」の彫刻駅に建つ
幼き頃の望み叶いて
沢田しずを

梅雨晴れの日曜なれば久びさに
娘の家訪はむ電話かけをり
西 滋子

ちぎり絵にヨットの浮かぶ海を貼る
訪うこともなきワイキキビーチ
野田 渾子

買い過ぎて
要らんもんまでためこんで
お年です
置いたところをきあ忘れ
寅之助

買い過ぎて
賞味期限大丈夫
お年です
言葉交わした人忘れ
神無月

買い過ぎて
あくしやうつる期限切れ
お年です
馬鹿じゃなけん年も食う
宰相

買い過ぎて
いつも荷物をもたせらす
年です
うんやんから家は建てますと
達生

買い過ぎて
近所・近辺配らした
お年です
ダンスしよって捻挫さす
万葉

〔今回の笠〕
○叱られて ○真面目すぎ
一笠一句を 十月十日(金)迄
津奈木町教育委員会へ